

## 令和4年度 県立旭高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上と服務規律の徹底	教育公務員として県民の信頼を損なわぬよう、モラル・マナー意識の向上を図る。	法令順守、教育公務員としての立場を自覚して責務を果たす意識についてチェックシートによる確認研修を実施したところ十分に信頼を得られる結果であり、目標を達成できた。
職場のハラスメントの防止	○ハラスメント防止指針の理解を深め、ハラスメントのない職場環境を維持する。	啓発資料を活用しチェックシートによる自己の振り返りを行うことで、ハラスメントのない職場環境を維持することができた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	○職員間や生徒に対する、わいせつ・セクハラ行為を絶対に起こさせない意識を醸成する。	映像資料を職員研修で活用するなど研修を工夫しながら実施することで、わいせつ・セクハラ行為を起こさない意識を醸成することができた。
体罰、不適切な指導の防止	○体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	啓発資料を活用しチェックシートによる自己の振り返りを行う研修を実施することで、教育公務員の立場を常に自覚して生徒に対して職責を果たす意識の強化を図ることができた。
入学者選抜関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○マニュアル及び採点、照合方法について当日の実施体制を確認し、適正な入学者選抜に臨む。	マニュアルおよび、採点・照合方法について当日の実施体制を周到に準備、確認し、適正な入学者選抜に臨むことができた。
成績処理関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○成績処理関係書類の作成ミスゼロにする。 ○個人情報の取り扱い意識を高める。	成績処理関係についてマニュアルに準じて滞りなく業務を実施できた。個人情報の取扱いについて、職員全体に周知することで事故防止の意識を高めることができた。
推薦会議を含む進路書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○推薦会議にかかる事故をゼロにする。 ○調査書等の進路関係書類の作成ミスをゼロにする。	推薦会議では複数人による読み合わせを行い、問題なく終了した。書類作成については副担任等の複数の目で点検を行い記載誤りのない進路関係書類を作成することができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	○個人情報等の分類を明確にするとともに情報セキュリティ対策を周知し個人情報等の事故を未然に防ぐ。	個人情報等の重要情報分類表等を整理し、全職員に周知する等により、個人情報等の分類を明確にするとともに情報セキュリティ対策を周知し個人情報等に係る事故を未然に防ぐことができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	○交通法規を遵守するとともに、酒酔い・酒気帯び運転を絶対にしない職場の雰囲気を作る。	交通安全に対する意識を高めるために、交通法規を遵守するチェックシートによる自己の振り返りを取り入れた事故防止研修を開き、酒酔い・酒気帯び運転を絶対にしない職場の雰囲気を醸成することができた。
会計事務等の適正執行	○私費会計について、「私費会計事務処理の手引き」に基づき、適正な執行方法を学び、私費の会計ミスをゼロにする。	事故防止会議を通して会計事務処理について適正な執行方法を職員に共有することで事故防止に努め、円滑な執行手続きやチェック体制を確立し、目標を概ね達成することができた。
部活動に係る事故防止	○部活動中の事故を未然に防ぐ。	熱中症に係る研修を行った。部活動中における熱中症発症リスクや応急処置についての内容も取り入れ、部活動時における熱中症発症数を抑えることができた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

- ・定期的に事故不祥事防止会議および不祥事防止研修会を設定し、県行政課発行の啓発資料を活用して教職員が取り組むべき課題を共有した。これにより職員の不祥事防止に対する意識の向上を図ることができた。特にわいせつ・セクハラ行為の防止、体罰・不適切指導の防止については、あらゆる方策を講じながら取り組んでいきたい。
- ・全職員に対し教育公務員としての自覚を促すとともに責任ある行動を求める。
- ・職員間のコミュニケーションを密にし、風通しの良い職場づくりに努め情報共有を図ることで不祥事防止に対する意識を高めていきたい。